

子ども部会ワーキンググループ アンケート集計結果

- 日時:令和5年6月15日(木) 10:30~11:50
- 場所:フロイデ301会議室
- 参加人数:35名
(内訳:障害児通所事業所28名 相談支援事業所3名 不明4名)
- 回答人数:35名

勉強会の内容は理解できましたか？

- ・良く理解できた 23名
- ・どちらともいえない 2名
- ・概ね理解できた 6名
- ・理解できなかった 0名
- ・未記入 4名

「あゆみ」について事業所でどのように活用できるか具体的にお書きください。活用できないと感じた方はその理由をお書きください。

- 事業所内で情報共有して支援に活用
 - ・保護者を主体として関係機関と連携し、もっと活用できるとよいと思いました。せっかく独自のものがあるので、もっと活用できるよう内容の更新も見直しをしていただきたいです。
 - ・本児の良い所がよく分かるものだと思うので、良い所を伸ばしていけるようにしていきたい。またあゆみからできること、できないことが分かるのでどういう支援が必要かを考え、よりよい支援をしていきたい。
 - ・あゆみを職員間で共有し、支援方法について考えていく。
その子の得意なことや苦手なことを知り、得意なことを伸ばし苦手なことをサポートできるようにしていきたいです。
 - ・自分達の支援のやり方が、保護者様を取りまく環境や要望に対し、ズレがないかを確認する事が出来るため、大変有用と感じます。
 - ・事業所の全スタッフがあゆみについて把握しているかを確認し、認知できるようにしたいと思いました。
 - ・あゆみは母子手帳みたいな物だと思った。子ども達の今の様子などが分かり、事業所での支援につながると思う。
 - ・あゆみを見れば、初めてサービス利用する子の成育歴や医療機関、特性などが分かり支援に生かしやすい。あゆみの存在を知らない人が多い。いろんな人が使いやすいようにしてほしい。
 - ・あゆみの会にも参加させていただいたことがあり、事業所でもとても参考にさせていただいております。
 - ・こすもす園や子ども未来園での過ごし方などの情報提供においてはとてもまとめられており理解しやすいと思った。犬山市全体で活用する事ができればもっと活用してくれるご家族が増えるのではと思う。
 - ・あゆみの意味や活用方法がよくわかりました。
 - ・情報を共有することで、その子に合わせた療育、支援活動を考えていける、とても重要なものだと思います。
 - ・事業所、学校などでの共通理解。
 - ・その子、その子の様子を全体で共有して、園と事業所と保護者で話し、より一人ひとりに寄りそった支援ができるようになって感じました。

- ・児童の生育歴、ここまでの支援をどう受けてきたかなどを知ることができると思った。より、更にの活用ができてくるとよいのではないか。
- ・本日はありがとうございました。あゆみの存在をはじめで知りました。活用方法をお聞きし、本事業所でも利用していきたいと思いました。
- ・障害の程度により活用できる部分がある。行動特性(概要)、医療、通院状況など。

○アセスメント時に活用

- ・初回のアセスメントとしては一目見て、情報が得られるため、活用できると思う。
また評価については般化が困難とされる場合、場所によっては評価が異なるため具体的に評価ができると良いと思った。
- ・現在、基本情報やフェイスシート、保護者様からの聞き取りをもとにアセスメントを取り、個別支援計画書の作成をしている。そこに「あゆみ」が加わることは支援するにあたり、良いことと感じました。是非多くの保護者さんと共有させていただきたいと思います。
- ・本児の事を知るアセスメントツールとして活用できると思った。
- ・初回のアセスメントへの活用、支援が上手くいかない時の振り返り。
- ・あゆみの面談時に、事業所が参加できる機会を増やしていけば、関係機関と子どものことを深く知る場、共有の場としていけると思いました。
- ・アセスメント時に活用し、子どもについて知り個別支援計画に盛り込んでいけるため、とてもいいと思っている。
- ・初回アセスメント時に同じことを繰り返し聞くことなく正確に聞き取れる。個別支援計画作成にとっても役立つ。日々の療育でとても参考になる。二次障害防止の為にとても役立つ。
- ・初回のアセスメントで活用させてもらっています。あゆみの面談で児発は園の先生に呼ばれ、参加する機会が多いのですが、放デイは呼ばれたりすることが少なく、放デイの意見・様子があゆみに反映されていることがほとんどない。
- ・対象児のアセスメントに活用でき、児の背景や環境を知れるツールであるので、その情報を基に計画の作成に使用していきたい。
- ・初回面談の時に見せていただける方は、アセスメントを取る事ができる。

○重心・医ケア児にも対応できるとよい

- ・重心、医ケアの子どもさんにあゆみがあるかわからないが、継続して子どもの支援が必要なのはどの子も同じなので項目の見直しや活用方法、支援者会議など事業所も子どもの育ちのためにできることをしていきたいです。
- ・いろいろな障害をもっているお子様に対応できる様な形にできると良いのでは。
- ・当事業所で作成する事はないのですが(該当児がいない)、「あゆみ」がある事を知れてとても良かったです。
- ・この仕事に就いて日が浅いので、わからない事ばかりですが、重心の事業所では使用が難しい、あゆみを提示されたこともないという声が多かったので、重心の子ども達も活用できるものになっていたらと思いました。

○犬山市独自の素晴らしいツール

- ・保護者を主体として関係機関と連携し、もっと活用できるとよいと思いました。せっかく独自のものがあるので、もっと活用できるよう内容の更新も見直しをしていただきたいです。
- ・あゆみは犬山市独自のツールですごいと思っています。さらに、この中で関係機関（利用事業所の情報も書ける所を作る等）の情報が分かると、もっと活用できるなと思います。

○学校卒業後、就労の事業所にもつなげられるとよい

- ・子どもたちの成育歴、特性等を保護者様や園と共有できる。就労に関して、つなげる事ができていないことが分かった。
- ・高等部を卒業すると B 型事業所や A 型事業所、アセスメントする事業所などに、子どもの頃からの事を何枚も書くので、あゆみが大人になっても引き継がれると助かります。A 型事業所、B 型事業所もあゆみが見れると助かると思います。

その他、勉強会全般についてご意見・ご感想があればお書きください。

○グループワークで他事業所と意見交換できてよかった

- ・グループ分けによって他事業所さんと意見交流できてよかったです。
- ・グループワークも久々に設けられていて良かったです。会場も広くて嬉しかったです。
- ・グループで話し合うことで様々な意見やそれぞれの事業所での情報が得られて良かった。
- ・他事業所の方の意見も聞けて良かった。グループワークも大事だと思った。ありがとうございました。
- ・グループワーク良かったです。今後のワーキングも大集団の時とグループワークがあると良いなと思いました。(みんなが一言は話せる場でありがたいです。)
- ・今回のようなグループワーク本当に助かります。また機会を作っていただけると幸いです。
- ・各事業所間での交流、情報の共有ができるようになると良いと思う。
- ・事業所の方々と情報交換が出来てとても良い会でした。
- ・他の事業所と意見が交換できるのでグループ分けはいいと思います。

○いろいろな意見が聞けて勉強になった

- ・本日はありがとうございました。大変勉強になりました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。
- ・初めてのことで分からないことがたくさんありましたが、とても学びになりました。ありがとうございました。
- ・すごく勉強になることが多い。今後も参加していきたい。
- ・色々な意見が聞けて、ぜひまたこのような機会に参加できたらなと思います。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。

○あゆみについて詳しく知ることができた

- ・あゆみについて詳しく知ることができてよかったです。あゆみがどのように作成されているのか良く分かりました。ありがとうございました。
- ・小学校ではあゆみをどのように使っているのかを知りたいと思いました。
- ・あゆみの書き方がすごく分かった。
- ・改めてあゆみの大切さを知れたので、勉強になりました。他事業所の方と意見交換も出来たのでよかったです。本日はありがとうございました。
- ・年金の申請時に成育歴を書かなくてはいけませんが、すごく細かく記入をしなくてはいけなくて大変だったと、以前利用していた保護者様から話がありました。申請用の用紙に正しく記入をしなくてはいけないことは承知していますが添付資料として、「あゆみ」が使えたら、同じことを書く必要もないし、詳細の情報を伝えられるのにな…と思いました。
- ・とても分かりやすく説明いただきありがとうございます。
- ・このあゆみを活用できると、お母様の手間も少しは減るのではないかと思います。

○その他

- ・来年度から法定研修を加えて行わねばならないのではないかと(感染症など)
- ・身体の方への理解についてもよく知りたい。